



産業建設常任委員会

各常任委員会委員は2年交替により産業建設常任委員会委員のメンバーも次のように変わって行動力の委員長をはじめとして経験豊かなメンバーとなった。

委員長 安藤武

副委員長 高久昭二

委員 八柳良太郎、浦山敏雄、田口喜義、佐藤宗善、藤原万正、戸沢清の8名である。

委員会が担当する主な事業は、農林業、土木事業、観光、商工事業などである。

本会議から当委員会に 平成20年度仙北市一般付託された案件は、議案 会計補正予算について1件、陳情4件、の合計 土木費 「道路改良事業」について5件である。



審査風景

いては上菅沢地区神代第一幹線カーブの改良に要する費用であり、用地関係者の意向も聞きながら進めたいとの説明であった。「街路事業」については岩瀬北野線の調査費であり、内川橋から横町橋間の未完成部分の事業実施に向けた調査費180万円である。

農林水産業費

子ども農山漁村交流プロジェクト事業の減額400百万円であったが、内容は平成20年4月1日に国の交付金要綱、事業要項が決定した事により、活動母体である仙北市農山村体験推進協議会への直接補助となり減額になった。

5年後から本格的導入を目指す、小学校5年生を対象に1週間以内の農業体験を目的とした、農水省、文科省、総務省の合同事業である。全国展開を図る前のモデル地区に指定を受けた。

林業費

針広混交林化推進事業については、今年度から導入された秋田県水と緑の森づくり税事業を活用

するソフト事業、混交林の誘導伐、作業路の開設等の事業である。

観光費

山と湖を美しくする会清掃活動費、田沢湖を美しくする会の各補助金である。県が清掃活動団体と直接委託契約をする予定であったが市への補助となり変更が生じた。市が助成している主な活動は、湯尻、春山、御座の石等のトイレ清掃、空き缶等のゴミ処理、草刈等

陳情

●住宅地内の前川水路一部改修の陳情

○本案については前回に引き続き現地確認をしたが、さらに調査が必要のため「継続審査」となった。

●「鳥獣被害防止特措法」関連

○予算を、鳥獣捕殺では

行っているものである。◎本案については全会一致で原案を可とした。



田沢湖畔の清掃に励む田沢湖を美しくする会員



陳情された神代地区の道路改良箇所

なく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情 本案については全会一致で「採択」とした。

●市道神代保育所東線の変更認定と舗装について

○本案については現地確認をしましたが、さらに調査が必要のため「継続」審査となった。

●国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情書

○本案については、全会一致で「採択」とした。